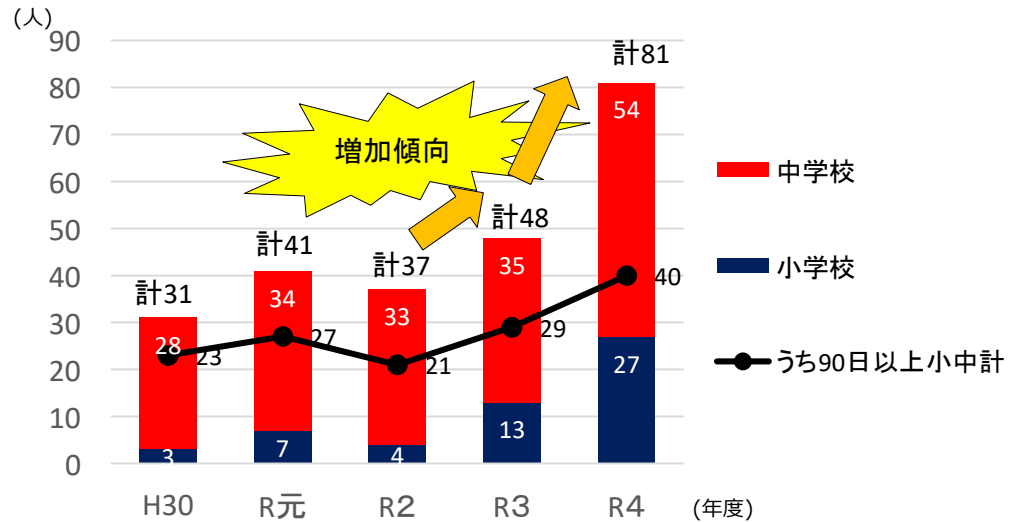


1. 現状

(1) 町立学校不登校児童・生徒数の推移 (H30～R4)



(2) 児童・生徒や保護者への主な支援

- 校内教育支援ルーム機能を展開 (全小中学校)
- 教育相談 (コーディネーター2名・臨床心理士4名)
- SSW配置 (全小中学校：4日/週)
- SC配置 (全中学校：1日/週、小学校：12回/年)
- 「不登校児童生徒を支援する民間通所施設についてのガイドライン」策定 (令和4年3月)

2. 今後の取り組みの方向性

- 町として、地域の児童生徒・保護者の声や国の「COCOLOプラン」を踏まえ、不登校対策の一層の充実に取り組む

【速やかに着手が必要なもの】

- ✓ 不登校児童生徒の学習活動に対する支援を行う公立の教育施設 (学校以外の学びの場「教育支援センター」) の設置

【今後強化充実等を図るもの】

- ✓ 不登校児童生徒が学びたいと思った時に学べる環境の整備 ⇒ 地域の拠点として教育支援センターの支援機能の強化
 - 児童生徒の多様な学びにつながるができるよう、個々のニーズに講じた学習の機会の提供
 - 不登校児童生徒の保護者への支援
 - 不登校児童生徒への支援の知見を有するNPOやフリースクール等との連携
- ✓ 早期発見・早期支援のための福祉部局と教育委員会との連携強化